



吉備中央町

議会だより

第34号

平成25年10月20日発行

発行／岡山県吉備中央町議会

〒716-1192

岡山県加賀郡吉備中央町

豊野1-2

TEL.0866-54-2081

FAX.0866-54-1366

編集／議会広報編集委員会

TOPICS

- 飲酒運転根絶条例を制定……………2
- 7 議員が町政を問う……………4
- 沖縄基地問題を視察……………14



夢はオリンピック

飲酒運転根絶に関する条例を新たに制定

9月定例会

平成25年第5回定例会は9月11日開会。条例関係3件、補正予算8件、工事請負契約締結変更1件、決算認定の議案など14議案と、財政健全化比率等の報告1件、議員発議4件、請願2件、陳情2件、同意2件が上程された。審議の結果それぞれ原案どおり可決され、26日閉会した。

なお、決算認定2議案は、設置された決算特別委員会に付託され、閉会中審査とした。

条例改正

ピオーネ生産団地条例の一部改正
(旧ストックファーム)

管理研修棟・機械格納庫などの使用料を無料から有料に変更する。

問 ピオーネ生産団地の10施設の利用料は妥当なものか、生産者以外は借りられるのか。また改築の場合の費用負担は町か、借り手なのか。

答 施設の面積、年限により使用料を決めている。また生産者に配慮し弾力運営できるように、減免、免除などは使用規定を検討している。改築は、

条例改正以後協議し、利用者において費用負担していただく、いろいろな事案が出た時点で協議していきたい。

防災会議条例の一部を改正

問 防災会議はどういうケースで開かれているのか。重

答 今までは計画策定、見直しで開いていた。災害もひどくなっているのも重要事項の発生時、また避難所、特別警報など新たな見直しが検討される。

飲酒運転根絶に関する条例

問 飲酒運転根絶の条例であるので、文言の解釈に間違いがないよう啓発すべきではないか。

答 飲酒運転根絶という願いと、のちの被害を防ぐ意味においてご理解と協力をいただきたい。

倉庫棟利用料

管理研修棟 1棟	月額30,000円
機械格納庫 1棟	月額 5,000円
(旧哺育育成舎) 1棟	月額30,000円
(旧育成舎) 1棟	月額30,000円
(旧飼育搾乳棟) 1棟	月額10,000円
(旧衛生管理舎) 1棟	月額10,000円
(旧肉用牛舎) 1棟	月額10,000円
(旧大鋸屑倉庫) 1棟	月額 5,000円
(旧ハートビーフ牛舎) 1棟	月額30,000円
(旧堆肥置き場) 1棟	月額 5,000円

一般会計補正予算

交付税や24年度繰越金の確定に伴い3億662万円追加補正された。

町道防災工事

町道下土井尾原線
3200万円

問 町道防災工事の内容は。

答 落石防災工事で、ネットでのポケット式工法、ワイヤーによる石止めなどで早急に安全性を図りたい。

買い物事業支援業務委託料

89万円

問 買い物事業支援業務の委託とは。

答 事業を進める支援で、地元より直接参加をいただき、事情説明、方向付けを支援する。

◎賀陽地区イノシシ処理加工場補助金増額
804万円

問 全町で利用できるのか。

答 対象は全町である。

◎住宅リフォーム事業補助金申請増加で
350万円



ワイヤーネットで危険防止を (参考写真)

平成24年度吉備中央町財政健全化判断比率等の報告

◎実質公債費比率16.6

(早期健全化基準25)

◎将来負担比率102.6

(早期健全化基準350)

(単位:%)

両比率とも基準をクリアしており、前年と比べて改善している。



使いやすさと安全を

教育委員会委員の任命に同意

◎津島雅章さん(福沢)任期 平成25年10月30日
29年10月29日 (再任)

国県へもの申す

●TPP交渉からの撤退を要求する意見書

●少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1還元に係る意見書

●私学助成の充実と私立高校の実質無償化を求める意見書及び私学助成施策の充実を求める意見書



柴田 聖和 議員

答 山本町長

現在、検討委員会の設置の前段である。委員の中には、で

問 統一に向けて検討委員会を立ち上げ住民の声を聞き、2年以内に統一をするとのことであったが、検討委員会でどこまで進んでいるのか。また、今後どのように進めていこうとしているのか。

答

検討委員会設置の前段階

問

自治組織の一本化の取組みは

できれば大学の先生等の学識経験者の方に加わっていただき、ご意見を聞きたいと思っている。

また、事前にアンケート等を行い、町民の方々の統一に向けた意向調査をしてみるのもひとつの考えと思う。並行して検討委員会を早急に発足し、その結果を踏まえ、さまざまな方向から検討していくことも大事なことを考えている。

答 町長

統一は大変難しが積極的に前に出て、旗を振らないと前には進まないと思うがどうか。

買い物支援事業について

問

自治組織の統一を町民が望んでいるのであれば早急に結論は出るが、町民が望まないことをやろうとすれば、町長自身

答 岡崎協働推進課長

現時点では御北小学校区で取り組んでいる。

具体的には、5月に対象地域の住民会長との意見交換を行い、6月にはアンケート調査を実施した。アンケート結果の報

とであるが、具体的にどのような対策を考えているのか。



住民の期待を背に

答

津島教育長

特色ある学校とは何を目指す学校なのか。また、開校までに児童生徒の交流を図っていくとのことであったが計画通りにいっているのか。

特色を考えると時には教育に関わることと施設設備に関わることの2つがある。

これまで4中学校が培ってきた特色を生かしたさまざまな施策を推進し、充実した学習指導体制を整え、活力ある教育活動を展開したい。概ね計画通りいっていると思う。

開校に向けて子どもたちが意欲をもって、少しでも不安を取り除いて新しい中学校に登校できるように考えている。

新設中学校

開校に向けて

問

開校まで6カ月となってきたが、開校に向け次の2点を尋ねる。

ここが聞きたい

7議員が一般質問

一般質問とは、町の政治・行政全般にわたり町長の方針や見解、説明を求めるものです。議員は質問により自己の意見を表明できます。

「議会だより」では、1議員25分の質問を、原則として議員自身が900字程度に要約したものを掲載しています。全体をお読みになりたい方には、議会事務局で議事録を公開しています。

頁	質問議員	質問要旨
P 5	柴田 聖和	1 自治組織の一本化の取り組みについて 2 頑張る地域応援事業について 3 新設中学校開校について
P 6	難波 武志	1 特色ある学校づくりについて 2 若者定住につながる農産物の研究について 3 医療機関への送迎について
P 7	石井 雅之	1 重大な災害が起こる恐れ（特別警報）への対応について 2 「子宮頸がん予防ワクチン」の評価について 3 原爆告発漫画「はだしのゲン」の評価について
P 8	森下 誠一	1 健康診断について 2 小中学校の学力問題について
P 9	日名 義人	1 「加賀中学校」づくりについて 2 定住促進・企業誘致について 3 防災対策について
P 10	新谷 富彦	1 米価暴落と農業維持について 2 選挙における投票について
P 11	西山 宗弘	1 施設管理について 2 新設中学校について 3 地域代表者について

(質問順はくじ引きによる)



石井 雅之 議員

問 気象庁特別警報への対応は

答 早め早めの対応をとりたい

答 山根総務課長
特別警報の段階では避難行動自体が危険を伴う可能性が高いので、避難所も早めに開設し、注意喚起に

答 山本町長
特別警報が発表されたら、告知放送で「非常に危険な状態なので最善を尽くして身を守るよう」呼びかけ、空振りになっても良いという気持ちで、早め早めの対応をとりたい。また、地域防災組織の充実を通じて情報の集約を行いたい。

問 本年8月30日、気象庁は数十年に一度の現象を基準に市町村単位で発表する特別警報の運用を開始した。

答 特別警報は、大多数の人が一生の間に経験することのない規模の災害が対象。町の対応はどうなっているか。



県道が淹に

問 子宮頸がんの予防ワクチンの評価は

答 子宮頸がんの原因とされるHPVの感染予防のため、ワクチン接種補助を町も行っているが、接種後に強い痛みなどの副反応が各地で報告され、現在は積極的な

推奨を控える措置がとられている。

また、このウィルスは性感染症であるため、ワクチン接種より性教育が必要と考える。町の評価と対応はどうか。

答 町長
厚生労働省からの通達により、接種を積極的には勧めない旨を広報紙に掲載した。有効性とリスクを理解の上で接種されるようお願いをしている。

答 瀬尾保健課長
子宮頸がんは予防と早期発見が必要な疾患。厚労省は接種を中止するほどリスクが高いとは評価していない。今回の措置は一時的なものとして、国の指導に従って実施したい。

答 津島教育長
小中学校で性教育を行っているが、子宮頸がんに関連しての教育は行っていない。

答 教育長
現在有害図書に指定されていない図書を教育委員会が制限することは考えていない。

答 町長
少年を主人公に広島が描かれている。作者の思想が強く出ているが、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、家族愛を表したものと受け止めている。

問 島根県松江市教育委員会が、小中学校での閲覧制限を指示し、マスコミ等の批判で撤回した事例があった。

答 賛否両論の評価のある漫画を学校図書室に置くことは問題ではないか。

原爆告発漫画「はだしのゲン」の評価は



難波 武志 議員

問 学力向上への取り組みは

答 吉備学プロジェクトの充実から

吉備中央町も開校と合わせて、学力向上のための特色ある取り組みをしてはと考える。

答 山本町長
学校教育は建物だけの整備ができれば良いというものではない。児童・生徒の学力向上に向けた総合的、組織的、継続的な取り組みが重要である。また、インターネットを使つての勉強も検討に値すると思っている。

若者定住に繋がる農産物の開発

2010年の調査で中国地方の農家の平均年齢や耕作放棄地率は全国平均を大きく上回っている。近い将来、多くの地域で農業や農村の維持が困難になる可能性がある。

答 町長
T P P交渉も着々と進められているが、交渉の行方を変えたい。

答 小室農林課長
若い世代の方が営農意欲を持って活躍できるような条件であれば、生産性及び収益性が上がり自然発生的に注目されるように

考える。若い世代がやる気になるような先進事例を提供していきたいと考えている。



忙しさを喜びにして

問 町が社会福祉協議会へ委託して、透析などの患者を病院へ送迎しているが、年末年始の送迎は行っていない。患者にとっては、透析には年末年始は無いのである。年末年始も何らかの対応はあっても良いのではないか。

答 町長
少しでも外出の手伝いが出来ればと考え、社会福祉協議会に運行を委託している。

年末年始の6日間については、家族等の応援やタクシー等公共機関を利用していただきたい。



日名 義人 議員

問

特色ある加賀中学校を期待

答

自然や特色を生かした教育に

問 いじめのない、明るい元気な声が聞こえ、レベルの高い学校との評判が立つ学校にしたい。

答 津島教育長

学習指導要領を踏まえながら、町の

答 山本町長

いじめのない、

定住促進・企業誘致

問

①「定住促進課」報告に「岡山市

の隣接の吉備中央町の注目度は高いが住まいの確保が課題」とあった。定住促進には住ま

また、「PPP参加、道州制」に反対だけでなく、少なくとも町村が地域資源を生かした町づくりを首長を先頭に職員・住民ぐるみで取組み、先進的成果を

また、「PPP参加、道州制」に反対だけでなく、少なくとも町村が地域資源を生かした町づくりを首長を先頭に職員・住民ぐるみで取組み、先進的成果を

また、「PPP参加、道州制」に反対だけでなく、少なくとも町村が地域資源を生かした町づくりを首長を先頭に職員・住民ぐるみで取組み、先進的成果を



完成が待ち遠しい

また、「PPP参加、道州制」に反対だけでなく、少なくとも町村が地域資源を生かした町づくりを首長を先頭に職員・住民ぐるみで取組み、先進的成果を

また、「PPP参加、道州制」に反対だけでなく、少なくとも町村が地域資源を生かした町づくりを首長を先頭に職員・住民ぐるみで取組み、先進的成果を

問

加賀中学校開校も近い。思春期は自分探しが始まる時期。格差・競争社会、過度の競争主義教育の下では自己否定に陥りやすい。加賀中でこそ自己肯定的な自分探しを助ける教育を願う。

問

全国学力テスト結果の公表があり岡山県は平均点以下であったが、町の状況はどうか。

また、下関市の吉見小学校では、10分から20分刻みで集中的に読み書き計算を繰り返す「モジュール学習」で、児童や保護者に大変好評ということである。町の状況はどうか。

また、下関市の吉見小学校では、10分から20分刻みで集中的に読み書き計算を繰り返す「モジュール学習」で、児童や保護者に大変好評ということである。町の状況はどうか。

また、下関市の吉見小学校では、10分から20分刻みで集中的に読み書き計算を繰り返す「モジュール学習」で、児童や保護者に大変好評ということである。町の状況はどうか。

防災対策

問

地域防災計画（予防、応急、復旧、復興）は、地域に合致し、地域住民のものになってこそ生きて働く。連続した災害と地域の高齢化の新たな課題は。

山根総務課長

今後防災基本法一部改正に基づいて見直していく。

この間の経験から、地域の危険箇所の安全対策。農地の荒廃を防ぐ地域の取組（中山間や農地・水・環境保全の事業）を防災対策として再確認。さらに早めの情報入手・判断のための体制確立等が重要だ。また、防災計画と経験を生かした防災訓練、自主防災組織の育成・啓発など地域防災力発揮に力を入れる。

問

血液検査での胃がん検診は

答

新たな方法も検討してみたい



森下 誠一 議員

問 健康診断の受診率は低下傾向にあるが、今年度の状況はどうか。

胃がん・肺がん・前立腺がんなど7つの部位のがんの可能性が分かる「AICS検診」を導入している自治体もある。この検査方法は、臓器に異常が起きると変化する血中のアミノ酸濃度に着目し、濃度を解析して7つの部位のがんの可能性がわかるものである。

従来健康診断にとられず、新たな検査方法や、検査項目を増やして、受診率の向上や町民の健康に留意してはどうか。

小中学校の学力問題

問

全国学力テスト結果の公表があり岡山県は平均点以下であったが、町の状況はどうか。

また、下関市の吉見小学校では、10分から20分刻みで集中的に読み書き計算を繰り返す「モジュール学習」で、児童や保護者に大変好評ということである。町の状況はどうか。

また、下関市の吉見小学校では、10分から20分刻みで集中的に読み書き計算を繰り返す「モジュール学習」で、児童や保護者に大変好評ということである。町の状況はどうか。

また、下関市の吉見小学校では、10分から20分刻みで集中的に読み書き計算を繰り返す「モジュール学習」で、児童や保護者に大変好評ということである。町の状況はどうか。



指導の工夫で学力向上

一部の自治体で小学1年生から英語授業を実施しているが、町の状況は。また、授業内容にばらつきがある。中学校1校になるので、格差が出ることは問題である。

答

津島教育長

全国学力テストの結果は、残念ながら全国平均点より低い結果である。学びのチャレンジコンテストは各小学校へ紹介はしているが、小学校9校のうち2校が参加している。

全ての学校が参加するのでなく、子供たちの実態を的確に把握して、各学校が適切な方法を取捨選択し実施することが重要と考える。

英語授業は外国語指導助手を各小・中学校に派遣して、英語に触れ合う機会を設けている。



西山 宗弘 議員

問 スポーツ施設の管理体制は

答 臨時職員で対応している

問 町内2カ所のスポーツ公園は、町民のスポーツと体力づくりの推進を図り、健康にして文化的な生活の向上を資するための施設である。お互いが公平で迷惑をかけず利用

答 山本町長

問 町営のスポーツ施設（グラウンド・体育館等）の使用後の確認や整備はどのようにしているのか。ゴミは、施設を使用した者が持ち帰るはずなのに、何日もそのままの状態になっていた。看板やバックネットの不備もなかなか整備されないままである。また、水道や電気設備の問題、駐車場の整備等について多くの問題が見受けられる。施設使用後の確認や整備状況の不備等に関する認識が欠けているように思われるが、町としての考えは。

答 津島教育長
臨時職員を配置し、かがわ総合スポーツ公園と、かようスポーツ公園の維持管理、修繕を行っている。また、看板でゴミの持ち帰りの啓発、使用申請時に文書によるお願

していただきたい。



マナー向上で迷惑防止

問

新設中学校について
新設工事を行う際には地域の

新設中学校について

いをしている。今後、使用団体等と協議し、施設の長寿命化や使用者マナー向上に努めている。

答 教育長

問 民家、病院、学校施設等に十分な配慮がされているのか。配慮が十分で無かったこともあったと考えられる。教育委員会の管理の不十分を指摘したい。また、スクールバスの運行について、業者選定等はどのようにしているのか。少しでも早く決定した方が良いと考える。

答 改修工事に当たり、近隣への配慮であるが請負業者がいさつ回りをしたり、工事現場には安全灯や飛散防止や防音対策を兼ねたバリケードやシートを張る等の対策をしている。

答 町長
部長制については、大和地域が旧村時代に各大字単位、また地域ごとに規約の中に定められたものである。そして、部内の重要事項の取りまとめや大和地区全体の調整等地域の重要な役割を担っていること認識しているが、行政側からの権限は何もない。

問

住民会や区長等は条例に基づいた行政管轄と認識しているが、一部の地域における部長制は、行政側からの権限等はどうになっているのか。

地域代表者について

は入札を行い、業者を決定する予定である。



新谷 富彦 議員

問 農産物への支援を求める

答 財政事情から難しい

問 昨年、私達は住民アンケートを実施した。農業に関する回答では、将来の不安や後継者問題、米価の下落で経営ができないなどの悩みの記述が多くあった。特に米価については最優秀銘柄のコシヒカリで、1俵1万6300円であったものが今年は大暴落となり、1万2000円になった。米の採算価格は全国平均で1万8000円、中国地方は2万円の政府試算がある。農村集落を維持していくことと、それに関わる住環境を守るため

答 山本町長
生産者は、営農意欲の湧くことと思う。今年のように米価が下がる農家への影響は直接的であり、打撃は大きく心配している。①1俵10000円の支援には9300万円の予算措置が必要になり、町の財政事情を考慮すると厳しいものがある。②価格保障制度は、自

答 小室農林課長
①試算では、本年作付面積と基準反収から9373万円が必要。反収8俵で試算すると、8425万円となる。今後、本年並みの価格で推移するならば、いかに経費を削減するか考える必要がある。②米価下落が甚大な時に経営安定対策で米価変動補填交付金がある。平成22年度は取引価格が下落し、交付金が反当たり1万5100円配布されている。これは転作達成者のみ対象で、未達者は対象外となる。



安定収入を望む

投票権の保障を

投票権の行使を保障するべきではないか。

問 先の参議院選挙は、多数の争点があったにもかかわらず、投票率54.51%だった。

答 町長

過去の投票率から見ると、投票率は低い。投票所は現在18カ所あり、統廃合の意見も出ている。県内で人口比でみると結構多い数だ。選管で高齢化や町の状況を踏まえ、投票率を上げる対応策は必要と思う。

委員会の動き

総務常任委員会

9月12日総務常任委員会を全員出席のもとで開き、付託案件1件の協議、定住促進課からの報告を受けた。

◎請願第3号

消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願

審議の結果、慎重審査のため閉会中もお継続審査を要するものと決定した。

継続審査

◎定住促進課事業報告

◆主な問い合わせ内容は、住まいの相談、新規就農相談、子育て支援策、交通アク

セス

◆相談を受けての課題
☆住まいに対しての相談は多いが、ニーズに合う空き家がな

い。
☆賃貸物件を望まれ、町営住宅等も入居要件があり難しい。
☆空き家物件の登録件数を充実させることが必要。



定住者いっしょい

☆新規就農制度については、町独自の上乗せ助成等もあり、興味を持たれる方が多い。
◆婚活支援事業
☆カップリングパーティーを平成25年8月31日に吉備プラザで開催。男性21名、女性15名参加し、4組のカップルが成立した。
☆吉備中央町結婚推進

協議会を設立の予定
◆移住体験ツアー
関西在住家族等を4組15名前後募集中。
内容は、空き家・新設中学校・吉備高原小学校視察・農業体験・ひだまり宿泊、地域住民、移住者及び新規就農者等と懇談会、イベント参加
◆吉備高原共同作業場跡に、町内の有志が転入移住者や移住希望者等に、情報提供などを行う定住支援センター「いっしょい」が開所する。

◎9月26日総務常任委員会を開き、吉備中央町10周年プロジェクト事業について、企画課長より説明を聞く。
◆吉備中央町合併10周年記念事業推進本部を設置、25年10月から会議を開き協議を進めていく。

民生文教常任委員会

清流と風と歴史に会える町

高知県津野町視察



喜ばれる集落コンビニ

8月21日(22日)、委員等計7名で高知県津野町を訪れ、廃校舎活用型の交流施設(森

の巣箱)と地域の見守り・助け合い活動へのICT活用モデル事業などの視察研修を

行った。

津野町は高知県の中西部に位置し、津野町の南部の床鍋集落は戸数36戸、人口93名、高齢化率43%の山間の小さな集落である。

平成8年から11年頃、「このままでは過疎化、高齢化が進み集落が消滅してしまう。

何とかしなければ」と立ち上がり、集落と行政の2人3脚で活性化会議がスタートした。

会議の中で、昭和58年に廃校となった旧床鍋小学校を地域の中核施設にすることとなり、集落コンビニ、食堂、居酒屋、宿泊施設などを配備し、集落を巣立っていった人たちがいつでも気軽に帰れるようにと「森の巣箱」と名付けた。今では年間千名を超える人たちが訪れている。

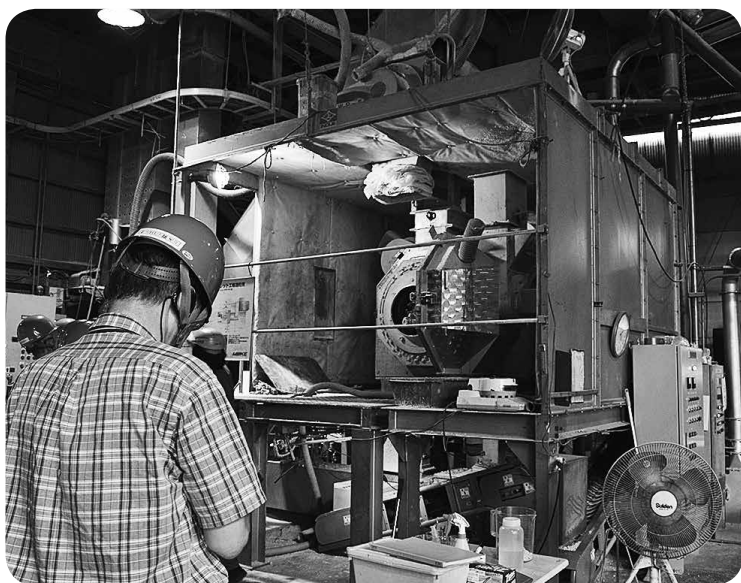
また、津野町では安心・安全ネットワーク会議を設立し、「誰も

産業建設常任委員会

ペレット工場を視察

7月17日、真庭市観光協会が毎月1回実施している、代替エネルギーの開発に取り組んでいるバイオマスツアーを研修視察した。

まず、木質ペレット製造工場を見学した。ペレットとは、おがくずやかんなくず等の製材廃材や林地廃材といった木質系の副産物



廃材をエコ燃料に

を粉碎圧縮した固形燃料のことである。木質ペレットは環境にやさしく、CO₂の排出量が少ないため、代替燃料として注目され、このペレットを燃料とするボイラー設置により市内の小中学校や市役所の暖房に活用している。

このほか、農業用ハウスの加温に、重油ボイラーからペレットボイラーへと切り替えが



庁舎の暖房に一役

徐々に行われており、燃料費が少しではあるが削減されている。真庭市が他に先駆けてこの事業に取り組んだのは、古くから木材業が盛んな地域であったからである。

わが町でも森林は多くあり、間伐材が山林に放置されている。これを有効利用したいものである。

追跡

あの時の質問
どねんなったとる？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。
(平成22年12月定例会の質問)

質問

年々有害鳥獣の被害が多くなり、ここ数年はイノシシやヌートリアの被害に加えてサルの被害も増えてきた。小型の捕獲檻を購入して、貸し出しは出来ないか。

答弁

サルを複数捕獲できる大型の固定式檻と小型の捕獲檻のを設置し捕獲したいと考えている。

その後

大型固定式檻を豊野と和田地内の2カ所に設置し、地元の方に管理をお願いしている。また、小型の捕獲檻を納地と福沢地内に設置し、地元の猟友会に管理を委託しているが、いずれの檻にも捕獲できていない。



質問

行楽客の休憩場所としてにぎわっている道の駅かよう。しかし、そのトイレは照明も薄暗く、便器等も旧式なもので不評である。改修の予定はないのか。

答弁

設置後相当期間が経っている。今後調査し、近代的なトイレに改修していきたい。

その後

平成24年度に、明るくて清潔な、木造平屋造りのトイレが完成。

女子トイレ……和式1 洋式3
男子トイレ……洋式1 小便器4
多目的トイレ…洋式1

沖縄へソのまち宜野座村と「うんなまつり」に参加

議会全員
研修



基地関連の説明

7月26日から28日に「うんなまつり30周年」記念行事へ参加することを行った。
今回の沖縄研修は二つの目的があった。一つは基地の現状を学ぶこと、二つ目は「う

んなまつり30周年」記念行事へ参加することである。

初日は、沖縄のヘソの町宣言をし、また基地のまちでもある宜野座村を訪問した。

まず、基地関連につき説明を受けた。

基地の面積は村の50.7%を占めており、訓練施設には、ライフル及びピストルの射撃場が存在し、実弾射撃が行われている。

また、名護市にかけてのキャンプシユワブには、戦車演習と水陸両用車の訓練場がある。

また昨今のオスプレイの飛行訓練に伴い、住民から騒音被害の訴えがあいついでおり、被害の実態を把握するため村内民家に9台の騒音測定器を設置し、村が週に1回程度データを収集し、ホームページで公表するとのことである。

そして、村の展望台から今問題になっている辺野古地域が一望でき、サンゴ礁の海だけにその青さは目を見張るものであった。

引き続きITオペレーションパークを視察、これは、受変電設備の二重化、自家発電機設置による無停電化によるデータセンサ機能を持ち、併せて免震構造で万一の地震災害に備えた素晴らしい施設であった。

翌日には旧加茂川町時代より交流を続けている恩納村を訪れ、30周年を迎えた「うんなまつり」に参加した。



沖縄では珍しい「獅子舞」

「太刀振り」「棒使い」「獅子舞」等、舞台狭しと披露された。特に「太刀振り」は、長刀の妙技を太鼓の音に合わせて、強弱をつけた振りに大きな拍手をいただいた。さらに「獅子舞」は、初めて見た人たちはびっくりなので、感嘆の声がひろがった。一方でこのイベントを記念して、地元議会とも親善交流して日頃の議員活動について、意見交換も行った。

毎年特産品を販売しており、今回も「桃」「ピオーネ」などを持参した。かなり前宣伝が行き届いており、好評のうちに完売することができた。

シリーズ

地域で活躍する
人たち

No.4

おふくの方さま顕彰会

岡山城主宇喜多秀家の生母

「おふくの方さま」顕彰碑について

平成25年9月14日、山本町長さんや観光大使宇喜多秀家・お豪様など参加者63名を迎え、顕彰碑除幕式を盛大に行いました。

この由来は、岡山の礎を築いた岡山城主・



宇喜多秀家の生母「おふくの方さま」は、作州勝山高田城主・三浦貞勝の正室として支えていましたが、高田城は、永禄8(1565)年落城した。おふくの方さまは家臣と共に城を脱出し、備前国津高郡下土井村(吉備中央町下土井)に落ちのび隠れ住んでいました。

このことは、勝山の高田城跡と岡山市沼の亀山城跡の案内板や多くの歴史本に、下土井の縁故先土井家に隠れ住んでいたと書かれています。

今日このことを語り

継ぐ方もほとんどなく、地域の皆さまに呼びかけたところ、多くの方々からご賛同をいただき、立派な顕彰碑が完成いたしました。今後は、おふくの方さま顕彰会を中心として毎年祭典等による親睦や、ゆかりの地と交流し地域活性化を図り、また、講演の中でおふ

くの方さまのテレビドラマ化に向けての熱弁もあり意を強くしました。このためには、付近町道の拡幅、観光案内マップなどの作成及び道路案内板の設置などが必要であり、町議会の皆さまにご協力お願いいたします。

(下土井 中山良二)

親子でサッカーを楽しむ会

下竹荘スポーツ少年団は、サッカーを通じて、友情・秩序・奉仕の精神を養い、すこやかに豊かな人間になることを目的に、現在下竹荘小学校に通っている児童16人と、その保護者などで活動しています。

練習試合をしたり、フアジャーノ岡山の試合を、岡山のカンコースタジアムで観戦したり、親子試合をしたり、楽しく過ごしています。指導は主に保護者がしており、指導方法など相談しながら進めています。

月2回、土曜日の午前中に練習を行っており、将来のサッカー選手を目指して、吉備高原のサッカーチームと

す。

このスポーツ少年団活動をする事によって、子ども、保護者、地域との交流も深まり、より密接な、より強い絆が生まれていることを肌で感じています。

子ども達は、将来に向けてサッカー場の建設の夢を見ながら練習をしています。

これから、子ども達が地域の方々と温かい心のふれ合いを通して、豊かで生きがい、に満ちた生活が送れるよう、応援していきたい。

(下竹 松浦茂行)



編集後記

今年も稲の収穫が終わりに近づき、夕日に染められたススキの穂が風に揺られ、スズミシの声が聞こえる季節となりました。

国も消費税増税、年金の引き下げ、TPPと国民にとっては頭の痛いことばかりです。

わが町も晴れやかな日を待ち望みます。

知恵を出し合って頑張っておりますので、ご意見をお寄せください。

(清山 昇)

